

29. 市町村母子保健事業実施状況(こども医療費助成事業)

こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、こどもの健全な育成を図るため、市町村が行うこども医療費助成事業に要する経費について補助金を交付する。平成6年度から事業を開始し、県内すべての市町村がこども医療費を実施している。平成24年10月からは、所得制限の廃止と併せて、対象年齢を入院は中学卒業まで拡大した。

平成25年度の助成金額は1,954,136千円(内県補助額971,377千円)となっている。

こども医療費助成事業実施状況

(表4-32)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実施市町村	41市町村	41市町村	41市町村	41市町村	41市町村
市町村助成実績	1,621,264	1,798,522	1,857,298	1,825,596	1,954,136
医療費負担額	1,696,166	1,887,367	1,953,385	1,918,884	2,051,665
県補助額	801,095	876,933	926,315	912,401	971,377

単位: 件・千円

* 平成25年11月から給付方法に自動償還方式を順次導入している。

30. 市町村母子保健事業 課題及び重点事項

(表4-33)

市町村名	課題	重点事項
北部保健所		
名護市	妊娠期の健康管理が不十分である	①母子健康手帳交付時面接内容の充実 ②妊娠期前後の体重変化に関する調査の実施(乳児健診にて)
国頭村	<ul style="list-style-type: none"> ・母親学級みたいなものを実施した方がいいか。 ・生活習慣のみだれ(3歳児:就寝時間、ファーストフード利用等)乳健時での周知 	平成22年度3歳児う蝕有病者率が51.40%だったのに対し、平成25年度は28%と減少している。 保育所でのフッ素洗口を取り入れたり、歯科検診の実施により、保護者の意識が高くなりつつあるとみられるので継続していきたい。
大宜味村	親子支援の徹底。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所との連携で気になる親子(乳幼児健診結果によるフォロー児)の把握と支援。 ・妊婦支援
東村	<ul style="list-style-type: none"> ・むし歯罹患児が多い。 ・乳幼児健診後フォローについて(例:村内にはことばの教室等がなく、医療機関受診までは必要が無い“要経過観察”児のフォローが難しい) 	幼稚園でのフッ素洗口を進めていく。
今帰仁村	乳幼児健診受診率の低迷 予防接種、接種率の低迷 未熟児出生予防	乳幼児健診 予防接種 妊婦個別フォローの充実
本部町	<ul style="list-style-type: none"> ・3歳児のう蝕有病率が県より高い。 ・低体重出生がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科に関する講演会(H26幼稚園で実施) ・妊婦の保健指導を強化
伊江村	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診後の事後教室などが不十分。親子ふれあい教室は発達相談の面が強く、また年3回となっているため主に個別対応となっている。そのため保健師の力量で支援にばらつきが生じやすい。 ・歯科保健に特化した子どもたちの健康維持・増進。フッ化物洗口事業を開始し、う蝕有病者率の減少がみられているが最近ほぼ横ばいになり始めている。 	乳幼児健診、事後支援の充実(保健師間の密な情報共有) 子どもの歯科保健、う蝕要因の調査及び普及啓発
伊平屋村	幼児の虫歯 規則正しい生活習慣の確立	歯科保健 健診事業の充実
伊是名村	<ul style="list-style-type: none"> ①発達が気になる子のフォロー体制が不十分 ②親の喫煙率が高い ③虫歯予防の生活習慣が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ①こども部会の充実を図り、連携体制を構築する ②親子手帳交付時に受動喫煙防止の指導をする ③受動喫煙予防ステッカーを作成し保護者へ配布啓蒙をする ④保育所への情報提供を継続的に実施していく

(表4-33)

市町村名	課題	重点事項
中部保健所		
宜野座村	<ul style="list-style-type: none"> ▪妊婦貧血の割合(62.5%)が県平均を大きく上回っている ▪乳児・1歳6ヶ月児も貧血が多い。離乳食で蛋白質の摂取が不十分 ▪低出生体重児の増加(H25 4人) 	<ul style="list-style-type: none"> ▪親子手帳交付時の保健指導後、栄養士による食の確認と栄養指導 ▪6～7ヶ月赤ちゃん相談を実施し、児の発育状態や離乳食の確認を行う ▪ハイリスク妊婦の保健指導及び医療機関との連携強化
宜野湾市	<ul style="list-style-type: none"> ▪3歳児健診受診率の低下 ▪若年妊産婦の支援体制が不十分 ▪乳児健診での貧血が県平均に比べて高い ▪1歳半健診でのう蝕有病者率が県平均に比べて高い 	<ul style="list-style-type: none"> ▪未受診者対策 ▪若年妊産婦の支援方法についてマニュアル作成を検討 ▪妊娠中からの指導を強化 ▪市の歯科の状況について、保健事業やイベントについて歯科保健の重要性について周知
沖縄市	<ul style="list-style-type: none"> ①未熟児への支援の充実の必要性 ②乳幼児健診受診率の向上が必要 ③こんにちは赤ちゃんの訪問率が低いなど事業の見直しが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ①未熟児への支援の充実 ②乳幼児健診受診率の向上 ③こんにちは赤ちゃん訪問事業の充実

(表4-33)

市町村名	課題	重点事項
うるま市	<p>【妊娠期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 低出生体重児の出生を予防する 2. 妊娠中の適切な母胎管理の実践ができる 3. 喫煙している妊婦やパートナーが多い 4. 妊娠中や産後の気分の落ち込み等があった妊産婦の支援 5. 妊娠による定期健診の大切さを知り、気になった症状があった場合には必要な対応ができる妊婦を増やす。 <p>【乳幼児期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児健診の受診率の低下 2. 親の子育て力を向上させる健診の実施 3. 乳幼児期の生活習慣の基礎づくりができる親を増やす。 母乳育児・離乳食・歯科予防・生活リズムの内容を重点に 4. 母乳育児の推進のために子育て関連機関が方針を統一し、必要な相談に対応できる 5. 3歳児う蝕有病率40.7%と高い 6. 生活リズムのみだれのある児の減少 7. 乳幼児を取り巻く環境で副流煙の害にさらされている 8. 地域の子育て力を高め、育児不安の軽減や虐待予防を図る <p>【思春期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学童・思春期の健康管理、若年妊娠・出産への対応 	<p>【妊娠期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 母子手帳交付時の妊娠中の健康管理について保健指導を全員実施体制(ハイリスク者へ徹底) ※子宮の異常や切迫流産、高血糖、妊娠高血圧症候群、貧血について指導強化。 2. 母子手帳交付時の生活リズムの保健指導 ※妊娠中でも禁煙治療ができることの啓発、妊婦の禁煙外来等の情報提供 3. 受動喫煙の害を広く市民に情報発信する 4. パートナーや家族が妊娠中、産後の母親の心の様子を知り、子育ての支えが大切であることを啓発する 5. 妊娠中に健康問題があった方に対して将来の疾病予防の観点から健診の重要性の啓発 ※妊婦健診有所見者への電話による指導。 <p>【乳幼児期】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 2. 乳幼児健診における保健指導等の振り分けを実施し待ち時間の短縮を図る。 ※子育て関連機関(保育所等)に対し、乳幼児健診の重要性及び受診勧奨の協力依頼 ※健診受診率向上対策チームの活動を推進し関係者が連携し、受診率向上を図る 3. 健康うるま21計画のデータを活用し、子育て関連機関が連携し食育に取り組む ※子育て関連機関との共有フォルダを作成し栄養士等の食育事業に関連する連携を強化 4. 母乳育児に関する考え方の統一したうるま市版子育て応援ブック「だいすき」(官民共同)を作成し、保護者及び関連機関で活用及び相談窓口の紹介。 5. 乳幼児期から、年齢に適した口腔ケア、歯のケアの習慣化のための保健指導 ※市内子育て関連機関と虫歯に関する情報を共有し、虫歯予防について勉強会を実施(1回開催) ※保育所でのぶくぶくうがいやフッ化物の効果についての取り組みについて推進啓発 6. 「食べて 動いて 早く(よく)寝よう」をスローガンに親子で生活リズムや遊び、食に関する知識を学ぶ教室の開催(一回開催) ※市内子育て組織との勉強会情報共有し、パンフレット等をおつようして親子へ啓発 ※のぼり(保育所等)ステッカー出前健康教室、健診出発式(5/12) 7. 母子手帳交付時や乳幼児健診で保護者に対して禁煙のすすめを行う 8. 児童家庭課、子育て支援センター等関連機関の情報の提供協力 ※乳幼児健診を活用した保護者へのねぎらいの声かけ、父親の育児参加の呼びかけなど <p>【思春期】1. 市内中学校での思春期教室の実施</p>

市町村名	課題	重点事項
恩納村	<p>〈妊産婦支援の充実〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠中の両親の喫煙 父親41%、母親1.2%で、嫌煙指導が必要。 ・早産・低体重出生、未熟児の予防 ・妊娠中の母胎管理が適切にできるよう支援する ・母子家庭や未婚者がおり、不安や経済的問題を抱える妊婦がいる ・OISTの方でハイリスク妊婦や初妊産婦がいるが対応不十分である <p>〈乳幼児支援の充実〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者の把握 ・乳幼児の栄養・食生活について 発育の盛んな乳児期の約3割が貧血で離乳食等の栄養指導の強化が必要 貧血…乳児健診33.2%(県20.4%) 1歳半児16.1%(県12.2%) ・1歳半児や2歳児のう蝕罹患率は減少傾向にあるものの依然として3歳児の約3割は虫歯がある ・発達や子育てに困り感のある親子のフォローについて ・保育所での気になる児のフォローについて 	<ul style="list-style-type: none"> ○母子健康手帳交付時の保健指導を充実させる <ul style="list-style-type: none"> ・禁煙指導または禁煙外来等の紹介。 ・妊娠中の食生活及び飲酒についての指導(貧血・栄養バランス等) ・口腔衛生、歯科治療について ○委託助産師による妊産婦訪問指導を充実させる ○経済的支援や必要に応じて家族調整をする ○英語が話せる助産師の確保によりOISTの妊産婦に対応する <ul style="list-style-type: none"> ・台帳の整理及び、電話等で未受診者を把握 ・母子保健推進員の乳児訪問等で未受診者を把握 <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時や乳幼児健診において栄養士による栄養指導を強化する。フードモデルの活用。 ・乳児健診へも歯科衛生士を配置し歯科衛生指導を行う(新設) ・1歳2歳歯科健診及び1歳半3歳児健診でのフッ素塗布の継続 ・発達支援教室「いるかクラブ」月1回の開催で発達や子育てが気になる親のフォローを行う(継続) ・臨床心理士等による保育所の巡回相談により、気になる児を保育士とともに支援していく。 ・乳幼児健診と発達支援教室及び保育所巡回相談において保健師保育士や臨床心理士が連携して児への継続的な支援を行っていく。
宜野座村	<p>予防接種率が目標の95%に達していない</p>	<p>予防接種の受診勧奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こんにちは赤ちゃん訪問にて予防接種の必要性について説明し予診表を配布する ・健診等の事業にてスケジュールを確認し受診勧奨を行う。
金武町	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳幼児健診の受診率向上 2. 1.6歳児、3才児う蝕有病率、1.6歳児の02の者の改善 3. 乳幼児健診後の親子教室のあり方(継続利用者、新規利用者が少ない) 4. こんにちは赤ちゃん事業の充実 5. 妊娠期からの生活習慣病予防 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健診再通知の継続(2回通知)、保育所との連携継続(受診勧奨)、2回未受診者については保健師による対象者への連絡、母子保健推進員による未受診者訪問及び受診勧奨、未受診者理由の把握 2. 歯っぴい歯科健診の継続実施(年4回) 3. 公立保育所・無認可保育園へ対象者の教室参加促し之協力要請 4. 親子健康手帳交付時の説明強化 5. 親子健康手帳の保健指導(適正BMI、喫煙、アルコールの影響等の充実)

市町村名	課題	重点事項
読谷村	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの健康管理 ・未熟児・低出生体重児の予防 ・未熟児とその保護者への支援 ・乳幼児健診、家庭訪問時の保健指導を強化 ・乳幼児健診受診率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健師、看護師による親子健康手帳の交付と妊婦保健指導 ・地区担当保健師による未熟児の保護者への保健指導 ・乳幼児の発育、生活リズム、食について保護者が主体的に取り組める指導 ・乳幼児健診未受診者の実態把握と受診勧奨
嘉手納町	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診受診率の向上 ・幼児のう歯罹患率が高い ・発達支援が必要な児の早期発見、早期支援 ・早期からの身近な相談窓口の周知、子育て支援 ・保護者の喫煙率の高さ ・低出生体重児の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者の状況把握と受診勧奨 ・フッ化物塗布事業の推進 ・健診事後教室の充実 ・出生届や転入届時に担当保健師の面接強化 ・母子健康手帳交付時や乳幼児健診での禁煙指導 ・低出生体重児への個別支援
北谷町	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診の未受診対策の強化 ・乳幼児の発達支援の強化 ・妊娠期からの健康・育児支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診未受診対策事業 ・乳幼児健診及び事後フォローの充実 ・妊娠期からの支援の充実
北中城村	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診率の向上 ・健康的な生活習慣を有する子供の割合の増加 	<ul style="list-style-type: none"> ①母子保健推進員による未受診勧奨の強化 ②保育所への受診勧奨依頼 ③健診会場でリーフレットなどを使用し個別指導
那覇市保健所		
那覇市	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦や思春期の喫煙 2. 3歳児健診のむし歯が多い 3. 子どもの事故予防について親の関心が低い 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦への禁煙指導(親子健康手帳交付窓口等) 2. 乳児後期健診における歯科衛生士による歯科指導、個別委託による2歳児歯科検診、1歳6か月児健診における歯科・栄養指導、フッ素塗布、歯科紹介状の発行 3. 事故予防パンフレットや展示物による啓発

市町村名	課題	重点事項
南部保健所		
浦添市	3歳児のう蝕率が高い	乳幼児における歯科保健事業
渡嘉敷村	3歳児のう歯の有病率の増加	乳幼児健診以外に歯科検診(年2回)を実施して定期的に検診とフッ素塗布を実施する。
座間味村	発達障害児を地域で支えていく体制づくりが必要	幼稚園など関係機関と連携を強化し、発達障害に関する住民への理解を深める。療育相談や村民を対象にした発達障害の講演会を開催。
粟国村	検診に向けての受診率向上・保健師不在のため検診後のフォロー	母子事業全般
渡名喜村	高校進学のため島を離れる子ども達が誘惑に負けない強い心を育てる	思春期教室
南大東村	幼稚園生からの齲歯有病率が高い	歯科保健事業
北大東村	事後教室につながるような場の設定	乳幼児健診
久米島町	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦、ベビーへのフォローが十分ではない ・1歳6ヶ月健診児・3歳児のう蝕罹患率高い ・3歳児のよく飲む飲み物で「ジュース類が約3割」「イオン飲料が1割以上いる」 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子健康手帳交付時と妊娠中に保健師等による面談を行う。 ・新生児訪問と2ヶ月児訪問し保健指導を行う。 ・こんにちは赤ちゃん事業を母子保健推進員が行う。 ・4ヶ月前後に栄養士による訪問を行う。 ・離乳食学習会・実習への参加を呼びかける。参加できない親子は訪問等にてフォローする。 ・乳児・1歳6ヶ月健診児の貧血の改善。(毎回1割程度の児が貧血) ・乳幼児健診未受診への受診勧奨。
糸満市	課題の整理と優先順位に沿って、事業計画を見直す	健診未受診者対策
豊見城市	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の貧血 ・健診未受診者の把握 ・3歳児の虫歯 ・乳児家庭全戸訪問率 	<ol style="list-style-type: none"> ①乳児一般健康診査後期からの歯磨き相談 ②1歳6ヶ月健康診査でフッ素塗布 ③2歳児へのデンタルフェア参加案内 ④3歳児健康診査で歯科検診、食事バランス・おやつについて個別に情報発信、歯についての紙芝居を実施予定 ⑤乳児家庭全戸訪問

(表4-33)

市町村名	課題	重点事項
西原町	①低出生体重児が多い ②乳幼児健診時において保険相談及び栄養相談を全員に実施できていない	①母子手帳交付時の保健指導の充実を図る ②乳幼児健診の保健指導及び栄養相談の充実を図る
南城市	・低出生児の減少、将来の生活習慣病のリスクの軽減 ・乳幼児期からの生活リズムの確立	・各健診で子供の成長に合った発達を学習、確認できる場の確保。 ・マタニティ教室の実施継続
八重瀬町	・低出生体重児 ・妊婦のフォローができていない	
与那原町	「生活習慣病予防は、胎児期からは始まっている」というライフサイクルの視点での継続した取り組みが重要。 親が、子どもの発達について、発達に沿った適切な時期に学習できる場の充実・確保。 また、母子保健に関する実態把握が不十分。	・食に関する学習 親子健康手帳発行時、育児学級、乳幼児健診、思春期食育教室 ・発達に関する学習 ・母子保健(妊婦、乳幼児)に関する実態把握
南風原町	・低出生体重児が多い ・育児に関する不安を持っている親が多い	・低出生体重児の減少に向けた予防活動。 ・親が子どもの正常な発育・発達を理解し、見通しを持って育児していく力をつけるための支援。
宮古保健所		
宮古島市	・人工死産が全国・県よりも高い ・低出生体重児が全国より高い ・3歳児の肥満率が高い ・1歳半健診で貧血が多い ・予防接種率が低い ・医療(病院)との連携:ハイリスク妊産婦新生児支援伝票にて病院との連絡相談を強化していく	・医療機関との連携 ・妊娠期間中からの保健指導の強化
八重山保健所		
石垣市	乳幼児健診のフォロー	発達が気になる児の支援体制の整備
竹富町	定期予防接種の種類が増えたことに伴いH25年度からBCGと学童期の定期接種以外を個別接種実施へ移行。接種率を下げないように受診勧奨をしていくのか工夫が必要。本町は6地区(5つの離島)で事業を実施しており、地区の乳児数に偏りがあるため事業実施が困難になる場合がある。とくに離乳食実習を適切な時期に実施できていない状況があり、母乳育児率は高いが離乳食の開始が遅れる、作るという技術力の低さも以前から課題となっている。	①予防接種率の向上をめざした受診勧奨体制づくり ②離乳食支援(実施機会、実施対象者、ツール等の見直しと実施、評価とPDCAサイクル意識して取り組む)

平成26年8月沖縄県健康長寿課調べ